

NEWSLETTER

No101719

マトリックスはかつて見た風景に戻りました。

2^1 や 6^1 の数値が今年最大の水準まで増加しました。

ナンバーオペレーションは1ヶ月毎の勝ち負けを競うゲームではありません。

“Going-concern”(「ゴーイングコンサーン」:「継続企業の前提」)はナンバーオペレーションにも当てはまります。事業が永遠に継続していくという仮定です。

ナンバーオペレーションは永遠の時間を味方にしていきます。

サイクル毎の損益に一喜一憂せず淡々と“ローテーション”を繰り返します。

サイクル毎に実行したオペレーションやハンド操作をレビューすることを心がけてください。また、マトリックスやバリューチェーンの数字をレビュー(振り返って見る)してしてみてください。そこに多くの発見があるはず。そこから多くを学ぶことができます。「既に知っている。」ではなく「まだ知らないことがある。」「まだ気づいていないことがある。」「まだ隠れて見えないものがある。」と思ってナンバーオペレーションに取り組みましょう。

[10]はエクスパイア(“expire”)を迎えます。

毎回述べていることですが、F1の月の数値がエクスパイアすることによって制度上(システム上)同数値は消滅します。しかし、実質的には、同数値は直前までF2だった月の数値に引き継がれます。F2だった[11]がF1に移ります。これが数値のサーキュレーション(「循環」)でありコンティニュエーション(「連続」)です。

それがナンバーオペレーション最大かつ最強のからくり(数学的原理)です。

この原理には数学以外に物理学の速度に関する原理が働いています。

小難しい理論はさておき、少なくとも数学的な原理を理解していく必要があります。計算は小学生が習う四則演算で事足ります。

計算を分かりやすくするために以下の例をあげます。

F1=[10]=12.00

F2=[11]=15.00

とします。

F1とF2は本来同じ数値で、[10]と[11]の数値が一定の水準にコンバージすると仮定します。

コンバージとは英語の“converge”で日本語では「収束」と訳されています。

[10]と[11]が13.00にコンバージしたとします。

$$[(13.00-12.00)+(15.00-13.00)]-(15.00-12.00)=0.00$$

“Converge”

